

ジャズ・ウルトラ機材

取扱説明書



Keeler
— A world without vision loss —

目次

1. 使用上の注意	3
2. 安全性	3
2.1 光毒性	3
2.2 警告および注意	4
2.3 禁止事項	5
3. 清掃および消毒方法	6
3.1 殺菌	6
4. 電池ハンドルおよびスタートアップ	6
4.1 目的	6
4.2 電池のスタートアップ、挿入および取り外し	7
4.3 入切する	7
4.4 カラーコードリングを変える	7
5. 耳鏡と付属品	7
5.1 耳鏡の挿入と取り外し	7
5.2 外部器具を耳に入れる	7
5.3 LED交換 - 耳鏡	8
6. 検眼鏡と付属品	8
6.1 レンズホイールと補正レンズ	8
6.2 開口部とフィルター	8
6.3 LED交換 - 検眼鏡	9
7. メンテナンス	9
8. 製品保証	9
9. 仕様および電気定格	10
9.1 電磁波の放射	10
9.2 電磁波イミュニティ	10
9.3 推奨安全距離	12
10. 技術仕様	13
11. 付属品とスペア	14
12. 梱包および廃棄に関する情報	14

	使用説明書を参照		一般的な警告記号
	製造年月日		警告:電気
	製造元所在地		警告:足元注意
	製造国		警告:非電離放射線
	廃電気電子機器 (WEEE) リサイクル		警告:光放射
	この面を上		警告:高温面
	水濡禁止		欧州規格適合
	精密機器		B形装着部
	パッケージが破損している場合は使用禁止		クラス II 機器
	温度制限		気圧制限
	欧州共同体での正式代表者		湿度制限
	カタログ番号		シリアル番号
	翻訳		医療機器

Kellerのジャズ・ウルトラ機材は、医療機器指令 93/42/EEC、EU 医療機器規則 Regulation (EU) 2017/745、および ISO 13485医療機器品質マネジメントシステムに準拠して設計および製造されています。

分類: CE:クラス I

FDA:クラス II

本マニュアルに記載されている情報の全部または一部を、製造者の書面による事前承認なしに複製することはできません。製品の継続的な開発の一環として、製造者は本文書に記載されている仕様やその他の情報を予告なく変更する権利を有します。

この使用説明書は、Keeler UK および Keeler USA のウェブサイトでもご覧いただけます。

Copyright © Keeler Limited 2021. Published in the UK 2021.

1. 使用上の注意

本機器は、適切な訓練を受け、認可を受けた医療従事者のみが使用するものです。



注意:本機器の販売は、連邦法に従い、医師または医師の指示による場合に制限されています。

機器の使用目的・用途

Keeler社のジャズ・ウルトラ耳鏡は、外耳、鼓膜および中耳の健康状態を検査するために作られています。耳鏡は耳痛、耳の感染症、聴覚低下、耳鳴り、炎症、できものを含み、またそれに制限されない耳の状態検査に役立ちます。

Keeler社ジャズ・ウルトラ検眼鏡は、白内障、乳頭浮腫、緑内障性視神経乳頭陥凹、糖尿病網膜症、高血圧網膜症、網膜剥離を含み、またそれに限定されない眼病のスクリーニングおよび診断ために眼底と呼ばれる後眼部を検査するためのものです。ハイパワーおよび拡大に設定した場合、目蓋、角膜、強膜、結膜、虹彩、水晶体、前部硝子体などの眼球前部の検査器具としてもご利用いただけます。

2. 安全性

2.1 光毒性



注意:本機器の照射光には、潜在的危険性があります。露光時間が長いほど、眼損傷のリスクが高くなります。最大輝度で作動した場合、本装置の照射光曝露は、21秒後に安全ガイドラインを超過します。



診察器具による急性の光線障害は確認されていませんが、患者の網膜に到達する光の強さは、各診断に必要な最小限にとどめることを推奨します。特にリスクが高いのは、子供、無水晶体眼の者、眼の症状がある者です。可視光線を照射する同様の機器に、網膜を24時間以内に露光した場合にも、リスクが高まる可能性があります。特に、事前に網膜をフラッシュ撮影していた場合がこれに該当します。

Keeler社は、要望に応じて、機器に関連したスペクトル出力を示すグラフを使用者に提供するものとします。

2.2 警告および注意

当社製機器の正常かつ安全な作動は、機器およびその付属品がKeeler 製である場合にのみ保証されます。当社製ではない付属品を使用する場合、本機器の電磁波（エミッション）増加や、電磁耐性（イミュニティ）の低下につながり、正しく作動しないことがあります。

機器を安全に使用するために、以下の注意事項を遵守してください。



警告

- ・ 製品に目視できる損傷がある場合は、絶対に使用しないでください。また、損傷や誤用の兆候がないか定期的に点検してください。
- ・ 製品の使用前に、輸送、保管時に生じた損傷等の有無を確認してください。
- ・ 可燃性のガスまたは液体のある場所や、高酸素濃度環境では使用しないでください。
- ・ 本機器の販売は、米国連邦法に従い、医師または医師の指示による場合に制限されています。
- ・ 本機器は、適切な訓練を受け、認可を受けた医療従事者のみが使用するものです。
- ・ 本製品を液体に浸漬しないでください。



- ・ 機材の使用時間を超過した場合、熱くなる場合がございます。



注意

- ・ Keeler社の純正の部品や付属品のみを使用してください。純正品でないものを使用した場合、機器の安全性や性能が損なわれる恐れがあります。
- ・ インストラクションに沿って電池を入れてください - セクションページ6の4をご覧ください。
- ・ 本製品は、周囲の温度が+10℃から+35℃の間で安全に機能するように設計されています。



- ・ LEDは使用中に熱くなります。LED交換時には、十分お気をつけください。

- ・ お子様の手の届かないところに保管してください。
- ・ 結露を防ぐため、使用前には室温に戻してください。
- ・ 屋内でのみ使用してください（湿度の高い場所を避けてください）。
- ・ 内部にはユーザーが修理可能な部品はありません。詳しい情報は、正規サービス担当者にお問い合わせください。
- ・ 怪我や機器の損傷を防ぐために、ガイドンスを参照し、清掃や日々のメンテナンスを行ってください。
- ・ 製品を処分する際は、地域の環境ガイドライン（WEEE）に沿って廃棄してください。

- ・ 本製品および耳鏡は、非殺菌で配達されています。傷害組織には使用しないでください。
- ・ 感染症リスクを抑えるために、新しいまたは殺菌された耳鏡をお使いください。
- ・ 使用済み耳鏡の処分はお住みの地域の現在の医療行為規制または感染性およびバイオロジカル医療廃棄物処分の規制に従ってください。
- ・ 長時間または移動中にユニットを使用せず、ハンドルから電池を抜いてください。
- ・ ユニットのライトが弱くなって来たら、診察に影響を与えるため新しい電池を入れてください。
- ・ ライトの効力を最大化するため、常に新しい高品質の電池と交換してください。
- ・ ハンドルを液体に浸さないでください。いかなる液体または結露もハンドルに入り込まないようにしてください。
- ・ 変形、液漏れ、腐食、外観の損傷がある電池は使用しないでください。破損や液漏れした電池の取り扱いには十分ご注意ください。電解液に触れた場合は、その部分を石鹼と水で洗ってください。目に入った場合は、直ちに医師の診察を受けてください。
- ・ バッテリータイプを混ぜて使用しないでください。
- ・ 電池を分解・改造しないでください。内部には修理可能な部品はありません。
- ・ 電池を廃棄する際は、地域の環境規制に従ってください。
- ・ 処分時の短絡を防ぐために電池にテープを貼ってください。



- ・ 電池を取り除いたら、電池端子と患者に同時に触れないでください。



- ・ 推奨最大露光時間を超えないようにしてください。



- ・ バルブおよびLEDを取り除いた後は、バルブおよびLEDと患者を同時に触らないでください。

2.3 禁止事項

本製品は、下記の禁止事項に記載のあるもの以外に、使用できる患者に制限はありません。

照度基準が高いため、検眼鏡により光恐怖症の患者は不快感を感じることがあります。

検眼鏡で散瞳薬を使用する場合、一時的な眩しさや光恐怖を感じる場合があります。散瞳薬の副反応は稀です。

耳鏡に関連するリスクは非常に少ないです。患者の中には特に腫れ上がったおよび炎症を起こした耳道への耳鏡を挿入する施術中に不快感を感じる人もいます。耳鏡のプラスチック部分が交換されていないまたは適切に清掃されていない場合、片耳の感染症がもう片方の耳にうつる可能性があります。

3. 清掃および消毒方法



器具洗浄前に、電源を必ず切ってください。

本機器の清掃は、下記のとおり必ず非浸漬で、手作業で行ってください。オートクレーブの使用や洗浄液への浸漬はしないでください。清掃する前に、必ず電源をコンセントから外してください。

1. 脱イオン水 洗浄液（洗剤容量濃度 2 %）、または水とイソプロピルアルコール溶液（IPA 容量濃度 70 %）で湿らせた、吸収性のある清潔な毛羽立たない布で表面を拭きます。光学部は避けてください。
2. 溶液が機器の内部に入らないようご注意ください。布が溶液で湿りすぎないように注意してください。
3. 清潔な毛羽立たないの布を使い、手作業で表面を注意深く乾拭きしてください。
4. 使用済みの清掃用品は、安全に廃棄してください。

3.1 殺菌

プラスチック製再利用可能検鏡は、紫外線や乾性温熱、ガンマ線照射に晒された場合、品質が落ちます。これらの殺菌方法は採用しないでください。



1. 再利用可能検鏡が目で確認できるほどの耳垢、耳漏や血で汚れている場合は、再利用しないでください。安全に処分してください。
2. 部品の全表面を適切なブラシや精製水/洗浄液（全容量に対して2%）を使用して手動で洗浄ください。ちょうつがいの検鏡は開いた状態および閉じた状態の両方で清掃してください。全ての裂け目まで拭いてください。洗浄液を 35° C以上に熱さないでください。
3. 全ての目視で確認できる汚れが取り除かれていることをご確認ください。
4. 使用済みの清掃用品は、安全に廃棄してください。
5. BS 3970または同等の基準を満たす蒸気滅菌器 を使用して滅菌してください。運用サイクル条件は以下の通りです：2.25バーでの殺菌温度は、134 – 138° Cで作動圧力は最低3分間にしてください。



6. 以下の清掃およびまたは殺菌プロセスにより、デバイスの目視で確認できる汚れが全て取り除かれ、正常に運転し、目的通りの使用に適した状態であることを確実にします。破損されている場合には、使用しないでください。安全に処分してください。
7. デバイスの使用寿命は、使用中の消耗およびダメージ具合によります。

使い捨て検鏡 - 一度だけ使用して、安全に処分してください。

4. 電池ハンドルおよびスタートアップ

4.1 目的

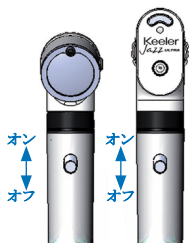
Keeler社の電池ハンドルはKeeler社ジャズ・ウルトラ・検眼鏡およびジャズ・ウルトラ耳鏡に装着されています。

4.2 電池のスタートアップ、挿入および取り外し

ジャズ・ウルトラ器具のヘッドを反時計回りに回転させて、ハンドルから外してください。市販の1.5Vの単三電池（IEC 基準参照 LR6）をハンドル上部のプラスポールにあるケースに挿入してください。

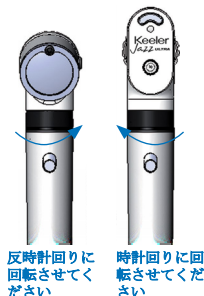
4.3 入切する

ハンドルにはオン / オフスイッチがあります。上向きの際はユニット電源がついており、下向きの際はユニット電源が切れています。



4.4 カラーコードリングを変える

ジャズ・ウルトラ器具を反時計回りに回転させて、ハンドルから取り外してください。



既存のリングを取り外して、ご自身の選んだ色のリングと交換してください。器具のヘッドの向きを時計回りにして、戻してください。

5. 耳鏡と付属品

5.1 耳鏡の挿入と取り外し

選んだ検鏡を耳鏡のクロムメッキ金属コーンに置いてください。抵抗力を感じるまで、検鏡を右方向に回してください。検鏡の大きさは外側表面にマークされています。



5.2 外部器具を耳に入れる

外部器具（鉗子など）を耳の中に入れる際、耳鏡の拡大鏡レンズ（約2.5X拡大）ヘッドを反時計回りに回転させてください。カバーレンズを反対方向にしてください。



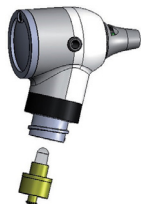
5.3 LED交換 - 耳鏡

電池ハンドルから器具のヘッドを取り外してください。LEDは器具ヘッドの下部にあります。親指と人差し指または適したツールを使用して、LEDを取り外してください。新しいLEDをそっと入れてください。



注意:

- ・ LEDは発熱することがあります
- ・ 検鏡は装着部です



6. 検眼鏡と付属品

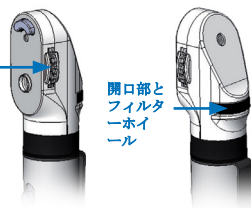
6.1 レンズホイールと補正レンズ

補正レンズは、レンズホイールで調整することができます。

以下の補正レンズをご利用いただけます：0から+20および0から-20。パネルに文章が表示されます。さらに、正の数は黒字で、負の数は赤色で示されます。

レンズ
ホイール

開口部と
フィルター
ホイール



6.2 開口部とフィルター

次の開口部およびまたはフィルターは、開口部およびフィルターホイールにより選択されます：



スモールサークル

大きな光が毛細血管反応または快適さを生み出す眼底部の黄斑部を検査するためにデザインされています。



セミサークル

小瞳孔の反射を減らす。



ラージサークル

スタンダード眼底部検査。



固視スター

中央および偏心固視の定義。



レッドフリー・フィルター

網膜出血など細い血管の変化を評価するのにコントラストを増やす。



コバルト・ブルーフィルター

角膜の傷やすり減りを検査するために蛍光色素とともに使用されます。

6.3 LED交換 - 検眼鏡

電池ハンドルから器具のヘッドを取り外してください。LEDは器具ヘッドの下部にあります。親指と人差し指を使って、LEDを器具ヘッドから取り外してください。器具の下部にあるリセス / スロットに装着されているLEDのピンを使用して新しいLEDを入れてください。



注意:LEDが発熱する可能性があります。

7. メンテナンス

ジャズ・ウルトラ器具およびその付属部品に特別なメンテナンスは必要ありません。器具の検査が必要な場合、お住まいの地域の正規販売店に返品してください。

8. 製品保証

使用者自身によって修理できる部品はありません。すべてのメンテナンスとサービスは、Keeler社の正規代理店にて行ってください。

お客様のKeeler製品は3年間保証されており、以下の条件のもと、無償で交換または修理させていただきます：

- ・ 製造上の欠陥による不具合。
- ・ 本機および付属品は、これらの指示にしたがって使用されています。
- ・ 購入したことを証明する書類を添付してください。

予めご了承ください：

- ・ LEDは購入日から1年間保証されています。



本機器が何らかの方法で改造された場合、定期メンテナンスを怠った場合、または本書に示す製造者の指示に従わない方法で定期メンテナンスが行われた場合、当製造者は一切の責任および保証義務を負いません。

本機器に使用者が修理可能な部品はありません。修理や修繕は、必ず Keeler社または適切な訓練を受けた正規代理店にて行ってください。修理マニュアルは、正規の Keeler サービスセンター、および Keelerの訓練を受けたサービス担当者が利用できるものです。

9. 仕様および電気定格

Keeler社のジャズ・ウルトラ耳鏡および検眼鏡、関連電源システムは医療電子機器です。本機器には、電磁両立性（EMC）に関する特別な配慮が必要です。このセクションでは、本機器の電磁両立性に関する適合性について説明します。本機器の設置や使用にあたっては、ここに記載されている内容をよく読み、遵守してください。

携帯型や移動型の無線通信装置は、本装置に悪影響を与え、故障の原因となることがあります。

9.1 電磁波の放射

ガイダンスと製造者宣言 - 電磁波の放射

Keeler社のジャズ・ウルトラ機器は、以下の電磁環境下での使用を意図されています。顧客または使用者はそのような環境下で使用するようにしてください。

放射試験	コンプライアンス	電磁波環境 - ガイダンス
RF 放射 CISPR 11	グループ 1 クラス B	ジャズ・ウルトラ耳鏡 / 検眼鏡は、機械内機能で RF エネルギーを使用しています。したがって、RF 放射量は非常に低く、近くの電子機器に干渉することはありません。
高調波放射 IEC 61000-3-2	なし	Keeler社ジャズ・ウルトラ耳鏡 / 検眼鏡は、家庭用の建物や、そこに供給される公共の低電圧電力供給網に直接接続されている施設を含む、すべての施設での使用に適しています。
電圧変動 / フリッカー エミッション IEC 61000-3-3	なし	

9.2 電磁波イミュニティ

ガイダンスと製造者宣言 - 電磁波イミュニティ

Keeler社のジャズ・ウルトラ耳鏡 / 検眼鏡は以下の電磁環境下での使用を意図されています。お客様またはジャズ・ウルトラ耳鏡 / 検眼鏡お使用者は、そのような環境下で使用していることを保証してください。

イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	準拠レベル	電磁波環境 - ガイダンス
静電気放電 (ESD)。 IEC 61000-4-2	± 8 kV 接触 ± 15 kV 空中	± 8 kV 接触 ± 15 kV 空中	床は、木、コンクリート、またはセラミックタイルであること。床が合成素材で覆われている場合は、相対湿度が 30% 以上であること。
電気的高速過渡現象・パースト。 IEC 61000-4-4	± 2 kV 電源ライン用 入出力ライン用 ± 1 kV ライン	なし	主電源の品質は、標準的な医療機関施設環境のものであること。

イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	準拠レベル	電磁波環境 - ガイダンス
サージ。 IEC 61000-4-5	ライン間 ±1kV ライン間 ±2kV	なし	主電源の品質は、標準的な医療機関施設環境のものであること。
電源入力ラインの電圧ディップ、瞬断、電圧変動。 IEC 61000-4-11	$U_T = 0\% \text{ } 0.5 \text{ サイクル}$ (0、45、90、135、180、225、270、315°) $U_T = 0\%, 1 \text{ サイクル}$ $U_T = 70\%$; 25/30 サイクル (@ 0°) $U_T = 0\%$; 250/300 サイクル	なし	主電源の品質は、標準的な医療機関施設環境のものであること。
電源周波数 (50/60Hz) の磁場。 IEC 61000-4-8	30 A/m	30 A/m	電源周波数の磁界は、一般的な商業施設や病院の環境における典型的な場所に特有なレベルである必要があります。

注: U_T はテストレベル適用前の AC 主電源電圧です。

イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	準拠レベル	電磁波環境 - ガイダンス
			携帯用および移動式のRF通信機器は、ケーブルを含め、Keeler社ジャズ・ウルトラ耳鏡 / 検眼鏡のどの部分にも、送信機の周波数に適用される方程式から計算された推奨分離距離を超えて近づけないように使用してください。
伝導 RF IEC 61000-4-6	6 Vrms 150kHz から 80MHz	なし	推奨分離距離 $d = 1.2 \sqrt{p}$
放射 RF IEC 61000-4-3	10 V/m 80MHz to 2.7GHz	10 V/m	$d = 1.2 \sqrt{p}$ 80MHz から 800 MHz $d = 2.3 \sqrt{p}$ 800MHz から 2.7GHz

イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	準拠レベル	電磁波環境 - ガイダンス
			p は、送信機製造者によるワット (W) で表した送信機の最大出力定格であり、d は、メートル (m) で表した推奨分離距離です。 電磁界の現地調査¹によって決定する固定 RF 送信機からの電界強度は、各周波数範囲における適合レベル以下である必要があります。²  このマークの付いた機器の周辺では、干渉が生じることがあります。

注 1: 80MHz と 800MHz においては、高い周波数帯を適用します。

注 2: これらのガイドラインは、すべての状況に当てはまるわけではありません。電磁波の伝播は、構造物や物体、人による吸収や反射の影響を受けます。

1 (携帯・コードレス) 電話および陸上移動無線の基地局、アマチュア無線、AM/FM ラジオ放送、テレビ放送のような固定送信機からの電界強度を、理論的に正確に予測することはできません。固定 RF 送信機による電磁環境を評価するには、電磁界の現地調査を検討する必要があります。ジャズ・ウルトラ耳鏡 / 検眼鏡の使用場所で測定した電界強度が、上記の該当する RF 適合レベルを超えた場合、ジャズ・ウルトラ耳鏡 / 検眼鏡を観察して、正常動作するか検証する必要があります。ジャズ・ウルトラ耳鏡 / 検眼鏡の異常動作を確認した場合は、機器の向きを変えたり、場所を変えたりするなどの措置が必要になります。

2 150kHz ~ 80MHz の周波数範囲において、電界強度は 10V/m 以下である必要があります。

9.3 推奨安全距離

携帯型および移動型 RF 通信機器と Keeler 社診断器具との推奨分離距離。

Keeler 社のジャズ・ウルトラ耳鏡 / 検眼鏡は放射される RF 妨害が制御されている電磁環境下での使用を意図されています。お客様、または Keeler 社のジャズ・ウルトラ耳鏡 / 検眼鏡の使用者は、下記の推奨事項に従い、通信機器の最大出力に応じて、移動型 RF 通信機器 (送信機) と Keeler 社のジャズ・ウルトラ耳鏡 / 検眼鏡の間の最小距離を保つことで、電磁干渉を防止できます。

送信機の定格最大出力 (W)	送信機の周波数に応じた離隔距離 (m)		
	150 kHz ~ 80MHz $d = 1.2\sqrt{p}$	80MHz ~ 800MHz $d = 1.2\sqrt{p}$	800MHz ~ 2.7GHz $d = 2.3\sqrt{p}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23.3

上記以外の最大出力定格の送信機については、送信機の周波数に該当する式を用いて推奨分離距離をメートル (m) で算出できます。p は、送信機製造者によるワット (W) で表した送信機の最大出力定格です。

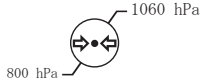
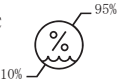
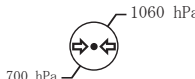
注 1: 80MHz と 800MHz においては、高い周波数帯を適用します。

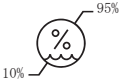
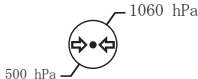
注 2: これらのガイドラインは、すべての状況に当てはまるわけではありません。電磁波の伝播は、構造物や物体、人による吸収や反射の影響を受けます。

10. 技術仕様

面積	耳鏡 : 12cm x 3cm x 7.5cm (H x D x W) (ハンドルと検鏡含む) 検眼鏡 : 13cm x 3cm x 3cm (H x D x W) (ハンドル含む)
重量	耳鏡 : 68gm (電池なしでハンドル含む) 検眼鏡 : 59gm (電池なしでハンドル含む)
絞り	スモールサークル、セミサークル、ラージサークル、固視スター、レッド・フリーフィルター、コパルト・ブルーフィルター (9ページをご覧ください)
ディオプトリ :	0 から +20および 0 から -20 (9ページをご覧ください)
準拠	電気安全 (医療) BS EN 60601-1 電磁両立性 EN 60601-1-2 眼光学機器 - 基本的要求事項及びその試験方法 ISO 15004-1 光放射線障害 ISO 15004-2

環境条件:

作動		
		
衝撃 (梱包なし)		10 G、持続時間 6 ms
保管条件		
		

作動		
輸送条件		
	  	
	振動・正弦波	10 Hz ~ 5 0 0 Hz:0.5 G
	衝撃	30 G、持続時間 6 ms
	パンプ	10 G、持続時間 6 ms

11. 付属品とスペア

品目	部品番号
検鏡- ジャズ・ウルトラ	
ジャズ 2mm 再利用可能検鏡 (10個組)	1514-P-7036
ジャズ 2.5mm 再利用可能検鏡 (10個組)	1514-P-7044
ジャズ 3mm 再利用可能検鏡 (10個組)	1514-P-7052
ジャズ 4mm 再利用可能検鏡 (10個組)	1514-P-7060
ジャズ 5mm 再利用可能検鏡 (10個組)	1514-P-7079
ジャズ 2mm 検鏡 (100個組)	1514-P-7087
ジャズ 2.5mm 検鏡 (100個組)	1514-P-7095
ジャズ 3mm 検鏡 (100個組)	1514-P-7108
ジャズ 4mm 検鏡 (100個組)	1514-P-7116
ジャズ 5mm 検鏡 (100個組)	1514-P-7124

12. 梱包および廃棄に関する情報

古い電気・電子機器の廃棄



本製品やその梱包材と説明書にあるこの記号は、本製品が家庭廃棄物として処理してはならないことを示しています。

当社では、WEEE（廃電気電子機器）が環境へ与える影響を低減し、埋め立てられる WEEE の量を最小限に抑えるために、製品の耐用年数が過ぎた時点で、本機器をリサイクルまた再利用することを奨励しています。

回収、再利用、リサイクルに関する詳細は、B2B コンプライアンス 01691 676124 (+44 1691 676124) までお問い合わせください。(英国のみ)。

本機器に関連して発生した重大な事故は、製造者および加盟国の管轄当局に報告する必要があります。

連絡先



製造者

Keeler Limited
Clewer Hill Road



Windsor
Berkshire
SL4 4AA UK
フリーダイヤル 0800 521251
Tel +44 (0) 1753 857177
Fax+44 (0) 1753 827145

米国営業オフィス

Keeler USA
3222 Phoenixville Pike
Building #50
Malvern, PA 19355 USA
フリーダイヤル 1 800 523 5620
Tel 1 610 353 4350
Fax 1 610 353 7814

中国オフィス

Halma China Group
名称：沃迈（上海）机电有限公司
地址：上海市闵行区金都路1165弄
123号23幢一号厂房三层B座
电话：021-6151 9025

インドオフィス

Keeler India
Halma India Pvt.Ltd.
Plot No. A0147, Road No. 24
Wagle Industrial Estate
Thane West - 400604, Maharashtra
INDIA
Tel +91 22 4124 8001



Visiometrics, S. L., Vinyals, 131
08221 Terrassa, Spain

EP59-33847 第 5 版 2021年5月12日発行



Keeler
— A world without vision loss —